

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	仏語演習		
英文授業科目名	Intermediate French		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	数藤 征枝		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sutoyukie@par.odn.ne.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：フランス語第一、第二で学んだフランス語をより高度なものとする
(b) 達成目標：フランスの文化への理解を深めること。会話力を身につけること。具体的には、フランス語圏に行った際、フランス語での質疑応答ができるようになること。

【前もって履修しておくべき科目】
フランス語第一、第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
テキスト： 初回授業時に指示

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

ビデオ教材を使用し、毎回ヒヤリングのトレーニングを強化する

第1回：フランス語第一、第二の復習

第2～14回：テキストに沿って進む

第15回： 期末試験

(b) 授業の進め方：

会話力を増すにはヒヤリングと簡単な文章が口から自然にでてくるようにすることなので、授業時には必ず質疑応答を行う。ビデオ教材なのでヒヤリングには良い条件となるはずですが、生活に必要な語彙を各段階で増やしていく。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

3分の2以上の出席をすることと、期末テストを受験することが最低の条件となる。

基本的には成績の評価は期末テストの結果が基になる。だいたい7～8割がこれで決定される。それに日ごとの授業への参加度、小テストの結果などを加味して考慮する。

期末テストの結果に平常の小テスト、質疑応答の内容等を加味して、総合的に判断する。

【オフィスアワー：授業相談】

授業時、またはメールでに適宜相談にのる。

【学生へのメッセージ】

楽しく、かつ有益な授業にしましょう！それには諸君の協力が必要です。積極的に授業に参加してください。

語学のトレーニングには反復作業が絶対に必要なので、できるだけ自宅でも映画、テレビ、シャンソンなどを見たり、聞いたりしてほしい。

【その他】